

地域創生総合戦略検証に係る有識者会議

日 時	平成 29 年 7 月 25 日（火）午後 1 時～午後 3 時 05 分
場 所	西宮市役所本庁舎 541 会議室
出席委員	蟻田委員、岡田委員、尾上委員、角野委員、清水委員、辰馬委員
事務局	今村市長、松永副市長、掛田副市長、田村政策局長、清水政策局担当理事、楠本政策総括室長、四條政策推進課長ほか
会議の公開	公開
審議等議題	西宮版総合戦略の取組み状況について 西宮版総合戦略の取組みに関するトピックス ・ふるさと納税 ・シティプロモーションサイト「西宮コモンズ」 ・子育てアプリ「みやハグ」 ・バスロケーションサービス

（主な意見）

■西宮版総合戦略の取組み状況について

- ・合計特殊出生率が上向いてきているが、実数ベースの自然増減数は下がってきており、今後の人口維持には課題があると言える。
- ・阪神南圏域では、県内大学卒業者がそのまま県内で働く割合が 2 割を切っている。いかにとどめるかが課題。
- ・人が集まってくるためには土地に魅力がないといけない。西宮市は今まで文教住宅都市という魅力で人を引きつけていたが、これからは魅力的な仕事場があることが重要になる。学生が卒業しても住み続けてもらうための要因にもなる。魅力的な事業体が育つことでそこに就職したい人が集まる循環ができるので、そこに何か工夫が必要。
- ・産学連携等を通じて、学生が市内企業に関心を持ってもらうための取り組みが必要。
- ・市と大学との連携強化については、連携の質・中身について踏み込んでもらえれば、まだまだ可能性があると思われる。
- ・神戸と大阪では、大阪に人が集まっている。一昔前と比べて、神戸は働く場所が少なくなった。職場が近いという環境が若い層に好まれている。
- ・大阪に人が集まるのは、大学が都心に集まってきていることも一因としてある。
- ・大阪市は住宅の価格帯が西宮より安く、人口が流れていると感じる。
- ・西宮市の中での人の流れというものを感ずる。高齢化により、山の手に住んでいた人々が駅前に転居してきている。逆に車を運転できる若者が山の手に移り住むようなバランスがあると良い。
- ・就業者の従業先について、国勢調査結果をもっと長いスパンで精査すれば、大阪、神戸、地元、それぞれの引力の変化が見取れるはず。
- ・西宮は転勤族が多い。そういう転勤族や単身赴任者のデータがとれたら面白い。

- ・一度は東京に住みたいと西宮市を離れる人もいるが、ずっと住みたいとは思っていないはずなので、そういう人をもう一度Uターンさせられたら良い。
- ・西宮戎にはまだまだ可能性がある。商売の神様なので、経済活動とも結び付けやすく、都市ブランドの発信強化にも繋がると思う。福男だけではもったいない。
- ・パーク&ライドや、公園敷地の利用など、新しい保育所施策は評価できる。子育て支援は西宮市の魅力として、もっと充実させていくべき。

■西宮版総合戦略の取組みに関するトピックス

【ふるさと納税】

- ・ふるさと西宮・甲子園寄附金のみ地域が限定されている。同じように地域を限定する寄附金メニューがあっても良いのではないかな。
- ・文教住宅都市としての発展に寄与するものとか、市の魅力づくりに力を入れてることと寄附金をもっと結びつくようなタイトルだとわかりやすくして良い。
- ・返礼品を物でなく、事で返すことはできないか。西宮市特有の体験パッケージみたいなものができれば、西宮市の魅力を感じてもらふことの強化につながると思う。SNSを通じて発信されれば、強力な循環も生まれる。
- ・寄附金の使い道について、あまり具体的に書きすぎると実施が難しくなる。10のメニューの中には逆に幅が広すぎて具体のイメージが沸きにくいものもあり、表記に統一感がない。
- ・寄附金額の最低ラインが3万円というのは、妥当と思われる。
- ・西宮ブランドについては、もっと首都圏にPRしていくべきなので、納税額を少し増やしていく努力は必要ではないか。
- ・返礼品で寄付者の拡大を図るとするのは本質から外れている。

【みやハグ】

- ・インストール数にはまだまだ伸びしろがあるので、広報に努めるべき。
- ・産婦人科や保育所にチラシを置いたら良い。

【バスロケーションサービス】

- ・バスロケーションシステムのように、民間企業のを借りたサービスが今後ふえたら良い。
- ・あまり交通の便の良くないところの方が、メリットを感じるシステムと思われる。
- ・高齢者への普及方法として、お孫さんから利用を勧めてもらふようなアプローチが効果的と思う。
- ・税金の納付書と一緒にチラシを封入して広報するのも良い。
- ・西宮市で生活するのに便利なアプリを詰め合わせて、市から勧めるような仕組みがあると良い。